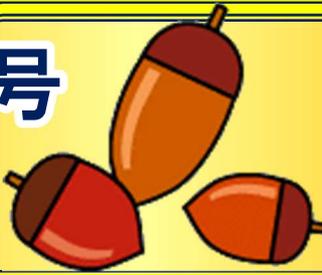


公民館だより10月号



発行/大詫間公民館

〒840-2211
佐賀市川副町大字大詫間 560 番地 1
電話・FAX 0952-45-4480
Email koodakuma@city.saga.lg.jp

大詫間の人口(令和6年8月末現在)
1,414人(前月比-3) 540世帯(前月比+4)
男 697人(前月比-1) 女 717人(前月比-2)

全3回 初心者向け スマホ教室



今年も初心者向けのスマートフォン教室を開催します。メールの使い方や画像の送り方など、色々な機能を楽しんでみませんか。自分のスマホを使いますので、学んだことをすぐに活用できますよ。

日時 11月11日・18日・25日(月)
10:00~12:00(全3回)
場所 大詫間公民館 大会議室
定員 12名(申込者多数の場合は抽選)
講師 シニア情報生活アドバイザー佐賀
参加費 無料(デジタル活用支援推進事業の為)
持ち物 ご自分のスマホ(無い方は貸出します)
申込み 公民館までお申込下さい

大詫間 ハロウィン

今年も大詫間ハロウィンを開催します!
大人も子どもも、この日はみんなで仮装をして
大詫間のまちを楽しみ歩こう!

日時 10月27日(日)
開会式 9:15 出発 9:30
※衣装を作る人は8:00集合
場所 大詫間公民館集合
申込 衣装づくりのみ要事前申込
参加費 無料



振休教室 日時 10月21日(月) 9:00~12:00

小学生対象の教室です。小学校の振替休日にハロウィンの
衣装や小物を手作りします。くわしくは大詫間小学校で
もらったチラシを見てね。みんなの参加をまっています!

10月予定表



※予定は変更・中止する場合があります

日	月	火	水	木	金	土
※ 10月1日(火)~11日(金) までの平日は浮立稽古日です		1 にこにこ運動教室 ブーカス号 14:00~14:50	2 まち協役員会 ももの会	3	4 健康麻雀	5
6	7 元気アップ教室 GG役員会	8 にこにこ運動教室	9 GB 愛好会 つばき会	10 ときわ会	11 健康麻雀 自治会長会	12 ブーカス号 15:10~16:00
13 秋季例大祭 浮立奉納	14 【スポ-ツの日】 GG 役員会	15 にこにこ運動教室	16 GG 愛好会(高 齢者スポーツ大 会)	17	18 健康麻雀	19
20 【休館日】 大小フェスタ	21 振休教室 元気アップ教室	22 にこにこ運動教室 社協役員会	23 つばき会	24 食改協伝達会	25 健康麻雀	26 さつき会
27 大詫間ハロウ イン	28 元気アップ教室	29 にこにこ運動教室	30	31	SAGA 2024 国スポ 10月5日~15日 全障スポ 10月26日~28日	

公民館主催・共催事業と地域行事等のご報告

つばめのねぐら観察会

9月6日(金)と9月17日(火)の2回に分けて観察会を行いました。日本野鳥の会佐賀県支部の皆さんにつばめの生態や観察の仕方などを教えていただきました。暗くなるにつれてつばめが参加者の頭上を越えながらヨシ原に向かって飛び込む姿が見られました。この素晴らしい自然を守っていくことの大切さを実感しました。



パソコン・スマホ お困りごと相談室

9月5日(木)に「パソコン・スマホお困りごと相談会」を開催しました。シニア情報生活アドバイザー佐賀の皆さんにご協力いただき、一人1時間の交代制で、わからない所や普段使っていて困っていることなどを質問されていました。

12月にも開催を予定していますので次回もお気軽にご参加ください。



地域・学びのサポート ときわ会

9月12日(木)に、佐賀市社会人権同和教育指導員の大島信行さんに「同和問題から学ぶ～過去からの証言、未来への提言～」というテーマで様々な人権問題について映像なども用いてお話いただき、差別の解消のために正しい知識を持つ事の大切さなどについて学びました。



食改さんの 男性料理教室

8月31日(土)に校区食改善推進協議会による男性料理教室が開催されました。

今回は「糖尿病を予防しよう」をテーマに健康を意識した料理の作り方を学びました。

参加者の皆さんは食改協さんに質問しながら一生懸命に調理に取り組んでいました。



大詫間校区 敬老会

9月13日(金)に大詫間小学校体育館で敬老会が開催されました。校区内の75歳以上の方約100名が参加され、お祝いの言葉のあと、2区の江口貞幸さんが代表で記念品を授与されました。

式典の後は2区の島内美代子さんによる詩の朗読と、大詫間小学校の皆さんによるソーラン節の元気っぱいの踊りを楽しみました。



浮立花づくり

9月22日(日)に地域の方約80名が集まり、浮立の花づくりを行いました。約1700個の花と葉の飾りが必要なため、前日から材料の紙の下準備をされていました。皆さんは慣れた手つきで染色された紙を次々に組み立ててきれいな花の形に仕上げてくださいました。分業しながら効率よく作業が進み、約260本の花が完成しました。





地域の方から大詫間への想いや小さい頃の思い出などをお寄せいただく『私と大詫間』シリーズです。

私と大詫間(1)

私は父が犬井道・母が大詫間出身の長男として、第二次世界大戦の終戦間近の昭和20年5月に大詫間郵便局の2階で産声をあげたと母から聞いていました。当時はまだ米軍の戦闘機が再三飛来しその都度母は私を抱き掘端の大きな木の下に隠れていて、体は小さいがよく泣く子で周囲の方から飛行機まで泣き声が聞こえるので、泣くのを止めさせる為「早くおっぱいばやらんね」と言われていたそうです。母乳の出る量が少なく、なかなか泣きやまず大変だったと母が私に話してくれた事を思い出します。

父母は満州から戦時中に引上げ終戦まで父は海軍予科練の教員をし、姉と私と母の3人は実家がある大詫間で暮らしていたようですが、戦後は持ち家が無く私が4歳まで犬井道の父の親類の納屋で生活し、その後、母方の大川にある親戚の家が空き家となり家の管理の為に引っ越しをし、小さな店を開業したと聞かされています。しかし生活は大変厳しく父は何とか勤めた所と店を兼業し、店は母と12歳違いの姉とで開いていたようです。

私が物心ついた時は母が大詫間に行商に出かけておりました。私は小学校2年生の頃から休みの日は母と一緒に付いて行きました。「謙ちゃんお母さんとよく来るね」と各ご家庭の皆様大変可愛がって頂きました。当時の私をご存じの方が居られましたら感謝の念でいっぱいです。有り難うございました。其の頃の行商での支払いは現金が少なくお米との交換が多く、母は帰りも重い荷物を背負っていました。私は中学校2年生の頃まで学校が早く終わると新田から大野島まで船で渡り大詫間の松枝神社の近くまで迎えに行った事もたびたびあり、今、思い出しております。

筑後川の堤防は昭和28年の大雨による大災害後の嵩上げ工事中で、大野島から大詫間まで土を運ぶ為のレールが敷設され、トロツコ(運搬車)がありましたので母が楽になるように背負った米をトロツコに乗せ帰った事も頭に浮かんでいます。時にはトロツコが脱線した事も有りました。

又、松枝神社の秋の大祭や学校の運動会にも母の実家や親戚から来ないかと呼ばれ遊びに来ていました。私の記憶では運動会は祭りの翌日で村中の人々が参加され、私の学校では考えられない盛り上がり、大声援で昼食は前日の祭りのご馳走を近所の人達と和気あいあいに仲良く食べたような気がしています。

大祭の浮立を見に行けば知人の方々から謙ちゃん、来ていたねと声をかけて戴きました。

小学校高学年の時に初めて浮立を見た時の印象は先ず大太鼓の音の大きさに驚きました。黒い傘をかぶった偉い人、笛、鉦、締め太鼓(モリヤシ)の頭に飾りつけた大勢の人と大きな変なお月様をかぶり、腰にゴザを着けて舞っている方がおられ村人は静かに見ている情景が特に印象に残っています。

尚、奉行、笛、鉦、締め太鼓(モリヤシ)、天衝舞いの名称は高校生になってから知りました。きらびやかに大太鼓を先頭に村を練り歩く後をついて行き、締め太鼓の方から花を貰い嬉しくて大川まで大切に持ち帰った事も思い出しております。大野島との県境の川で従兄達や仲良しになった大詫間の友達とエビ釣り競争もしました。

秋は稲狩りで学校は農繁期休みがありました。休みになると母の実家の伯父さんから連絡があって手伝いに早く来んばと言われ自転車で田んぼに行き、刈り取られた稲の束を稲こずみをする前に三束を三段に積む事が私の手伝いでした。店の手伝いと違い今思えば大変きつい労働でしたが田んぼで食べる昼食の美味しかった時と、お小使いを貰って帰る時はきつかった労働は忘れていました。

～後編につづく～

第43回目は…
久留間 謙次 さん
(南川副在住・
大詫間公民館管理人)

佐賀市のウェブサイト「つながる大詫間」

校区の行事やまちづくり協議会の活動、公民館講座の案内や報告など、楽しい地域の情報をお届けしています。写真も盛りだくさんの楽しいサイトです。ぜひチェックしてみてくださいね！

「つながる大詫間」の
QRコードはこちら



令和6年秋大祭

御神輿巡幸(浮立)

大詫間が1年で一番熱くなる日が帰ってきます!

令和6年10月13日(日)

午前中の予定

第一鳥居打ち込み	3時30分
祭典(浮立奉納)	4時30分
お神輿 お下り	5時00分
仮の宮お着き(山口家住宅)	7時00分
お神輿 お上り	8時30分
松枝神社お着き	10時40分
祭典	11時00分
下の宮浮立奉納	11時30分

仮の宮 山口家住宅(元方9区)



※詳しくは各戸配布のチラシをご覧ください

館長コラム

ひと昔前の9月は「今日は暑かね」でしたが、最近は「今日も暑かね」になりました。それでも暑さ寒さも彼岸まで、お彼岸を境に秋に切り替わりました。今年は昔から言い伝えられてきたこの表現がぴったり当てはまりました。乾いた空気に虫の音、稲穂や店頭と並ぶミカンは季節の移ろいを感じさせます。▶5年ぶりに開催された敬老会は約100名の参加がありました。熱中症が心配されましたが、無事終了しました。自治会長並びにご夫人方、暑い中、早朝から夕方までお疲れ様でした。▶全国で米が品薄になっています。唯一自給率100%の米が一時期店頭から消えましたが、店で米を買うことがないので実感がわきません。国が主導してきた減反政策は廃止されたものの、依然として米余りにならないよう実質的な生産調整は行われています。一方で米を作る農家は激減し、従事者の高齢化も顕著です。このまま農家が減っていけば、自給率100%を切ってしまう、米を満身に食べられなくなるかもしれません。そうならないよう農家への支援が必要だと思います。▶日本は食料の62%を輸入に頼っています。世界の人口は2050年頃には100億人に達する見込みで、食料需要の増加や地球温暖化で農業生産が大きく減少することが危惧されています。また、近年では有事に備えて自国の食料確保を優先して輸出規制をする国もでてきています。▶農業従事者が減っても企業の参入や大規模化で農業生産額は変わらないという意見もありますが、生きるための根幹である食の確保と農地や水路など国土の荒廃を防ぐため、未来を見据えて取り組んで欲しいと思います。